

個別施設計画

策定年月	H31.1
------	-------

施設名	総社高等学校		所在地	総社市総社3丁目9-1				
敷地面積	25,865.59 m ²		棟数	76 棟 (計画記載対象 15 棟)				
延床面積	13,128.47 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象				
設置目的	高等学校教育のため							
【想定される自然災害】								
予想震度 5強	津波 ー		浸水 0.5~1.0m未満					
建築規制	市街化区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%							
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 350,831 kwh	ガス 9,097 m ³	水道 7,737 m ³	燃料(灯油) 900 ℥				
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 総社市指定緊急避難場所・指定避難所(土砂災害、地震)							

1 施設内建物の概況

名 称	教室棟(105棟)33-1	普通教室棟(106棟)33-2	普通教室、特別教室棟(111棟)33-3
築年(西暦)	1980 年	1981 年	1982 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	159.19 m ²	132.66 m ²	306.16 m ²
延床面積	477.58 m ²	397.98 m ²	918.49 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	普通教室	食物教室 情報処理教室 被服教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	-	給排水設備 消火設備 空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	適 適	適 適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	適 適	適 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物(S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	本館棟(114棟)40-1	本館及び特別教室棟(116棟)40-2	本館及び特別教室棟(121棟)40-3
築年(西暦)	1983年	1984年	1985年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	451.26 m ²	327.06 m ²	389.38 m ²
延床面積	1,316.78 m ²	1,214.92 m ²	1,244.85 m ²
主要な用途 (室名等)	教務室 社会科教室 音楽教室	書道教室 LL教室 進路室	美術教室 合併教室 図書室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	適 適	適 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根	屋根

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でのコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

名 称	特別教室棟(131棟)33-4	生徒ホール室棟(38-2棟)18	屋内体育館(46棟)19-1
築年(西暦)	1988 年	1957 年	1962 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	木 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	154.55 m ²	208.25 m ²	1,001.62 m ²
延床面積	473.21 m ²	208.25 m ²	1,176.15 m ²
主要な用途 (室名等)	食物教室 被服教室 家経保育教室	生徒ホール	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備 空調設備	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有		有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適		不適
	中性化 ※3 適		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	適	適
	地盤沈下 ※5 適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根 外壁	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でのコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

名 称	教室棟(47棟)10-1	教室及び便所棟(48棟)10-2	格技場, 附属屋(82-3棟)21
築年(西暦)	1965 年	1966 年	1971 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄骨 造 2 階
建築面積	424.24 m ²	205.43 m ²	386.69 m ²
延床面積	1,007.67 m ²	682.62 m ²	413.69 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室 生物教室 化学教室	普通教室	格技場
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	不適 適	不適 適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	適 適	適 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でのコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

名 称	水泳プール付附属室棟(83棟)25-1.2	春靄会館(図書館)(87棟)26	理科教室棟(88棟)10-4
築年(西暦)	1971 年	1972 年	1973 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	260.10 m ²	291.10 m ²	198.72 m ²
延床面積	260.10 m ²	491.63 m ²	596.16 m ²
主要な用途 (室名等)	更衣室 シャワー室 教官室	集会室 研修室	生物教室 化学教室 物理教室
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備	給排水設備	空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	適 適	不適 適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	適 適	適 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でのコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
教室棟(105棟)33-1	長寿命化改修を行う。
普通教室棟(106棟) 33-2	長寿命化改修を行う。
普通教室、特別教室棟 (111棟)33-3	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 長寿命化改修を行う。
本館棟(114棟)40-1	予防保全を図る。
本館及び特別教室棟 (116棟)40-2	設備等の定期更新を行う。
本館及び特別教室棟 (121棟)40-3	予防保全を図る。
特別教室棟(131棟) 33-4	設備等の定期更新を行う。 長寿命化改修を行う。
生徒ホール室棟(38-2 棟)18	予防保全を図る。
屋内体育館(46棟)19- 1	設備等の定期更新を行う。(耐用年数まで使用した後、改築等を検討する。)
教室棟(47棟)10-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
教室及び便所棟(48 棟)10-2	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
格技場、附属屋(82-3 棟)21	予防保全を図る。
水泳プール付属室棟 (83棟)25-1,2	予防保全を図る。
春靄会館(図書館)(87 棟)26	予防保全を図る。
理科教室棟(88棟)10- 4	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(105棟、106棟、111棟、131棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
教室棟(105棟) 33-1	長寿命化改修								設計・施工 4		
普通教室棟 (106棟)33-2	長寿命化改修								設計・施工 105棟に含		
普通教室、特 別教室棟(111 棟)33-3	設備等の 定期更新							屋上防水			
	長寿命化改修							トイレ			
本館棟(114棟) 40-1	予防保全			予防保全を図る。							
本館及び特別 教室棟(116棟) 40-2	設備等の 定期更新			自動火災 報知設備							
本館及び特別 教室棟(121棟) 40-3	予防保全			予防保全を図る。							
特別教室棟 (131棟)33-4	設備等の 定期更新						屋上 防水				
	長寿命化改修							設計・施工 105棟に含			
生徒ホール室 棟(38-2棟)18	予防保全			予防保全を図る。							
屋内体育館(46 棟)19-1	設備等の 定期更新					屋根 改修					
教室棟(47棟) 10-1	予防保全			予防保全を図る。							
教室及び便所 棟(48棟)10-2	設備等の 定期更新					トイレ 洋式化					
格技場、附属 屋(82-3棟)21	予防保全			予防保全を図る。							
水泳プール付 属室棟(83棟) 25-1,2	予防保全			予防保全を図る。							
春露会館(図書 館)(87棟)26	予防保全			予防保全を図る。							
理科教室棟(88 棟)10-4	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

総額 4億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	教室及び便所棟(48棟)において、設備等の定期更新を追加
R3.3	屋内体育館(46棟)において、設備等の定期更新を追加
R5.3	普通教室、特別教室棟(111棟)及び特別教室棟(131棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	・普通教室、特別教室棟(111棟)において、設備等の定期更新を追加 ・教室棟(105,106棟)及び普通教室、特別教室棟(111棟)、特別教室棟(131棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更